

# 新城の風 第46号

長崎県立壱岐商業高等学校  
壱岐市勝本町新城西触282  
電話：(0920) 42-0205  
FAX：(0920) 42-0024  
URL：http://www.news.ed.jp/iki-ch/

## 動こう

教頭 宮崎 伸一



教頭 宮崎伸一

10月から万歩計ならぬ億歩計を身につけて生活している。初めて身につける品物であるが、日頃の運動不足を自覚してか何の抵抗もなく身につけて計測をしている。結果を見ると、特にウォーキングやジョギングをしている訳ではないが、平日で1日に9,000~12,000歩。これが休日や出張日になると3,000~4,000歩だった。1歩約50cmで計算すると、平日が約5km、休日が約2kmといったところか。この数値が多いか少ないかは検証できていないが、学校に通常通り勤務していない日に歩数が激減していることから、今後の課題が見えてきた気がする。

決して多い歩数ではないが、歩いて動くことによって気づいたことがある。それは、これまで見えなかったものが見えてくる、ということである。つまり見る角度が変わることで見え方が変わり、景色や作品や人の外見・表情、さらには知らない人と出会って挨拶や交流が始まるなど、新しい出会いや発見につながるきっかけとなる。皆さんはそのような経験はないだろうか。小さいが、つい先日も植え込みの中から忘れ去られたボールを見つけたり、スズメバチの巣を発見したり、テーブルの下には100円玉が眠っていたり・・・。

これから季節も寒くなり出不精になりがちである。生徒の皆さんは、寒いからといって部屋に閉じこもり、スマホやゲームに没頭し貴重な青春時代を無駄に過ごしていないだろうか。汗をかくことに抵抗を感じていないだろうか。

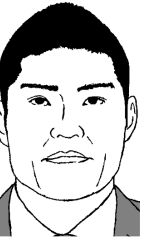
先日読んだ本によると、運動と脳とは重要な結びつきがある。動かす筋肉が大きいほど、脳への刺激も大きくなるので、太ももを動かすのが一番。だから走ったり、歩いたり運動の中で一番脳を刺激する、とあった。また一流のスポーツ選手が記者会見で、新人の頃と比べ次第に話しの内容が深くなるのは、話すことに慣れたというだけでなく、脳そのものの機能が洗練され、脳の働きが良くなった証拠かもしれない、とあった。

体を動かすと頭が動き、頭が動くと心が動く。寒さに負けずに動いてみよう。そこに思いがけない出会いや新しい発見があるかもしれない。私も時間を無駄に過ごすことがないよう気をつけながら、休日の歩数アップに向けて動か(歩か)なくてはならない。



## 2学期のメイン学校行事！ 第39回体育祭

Thank You!!  
~届けよう、この思い~  
日ごろの学校活動を支援してくださる皆様に感謝の気持ちを伝わりましたでしょうか？



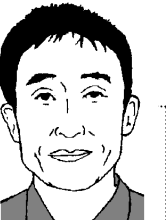
体育科主任西岡

2学期に入って最初の学校行事となる「平成27年度 第39回体育祭」が、9月5日(土)本校グラウンドにて、「Thank You!! ~届けよう、この思い~」というテーマのもとに開催されました。今年の総合優勝は、3組情報処理科で結成した黄色ブロックでしたが、3年各クラスが仮装をし音楽に合わせてダンスを披露するIki Show timeでは3年2組の優勝となりました。今年度は、特に1・2年生の集団演技において素晴らしい演技が見られました。1・2年生女子のマイケル・ジャクソンの曲に合わせたダンスは直線的な動きが斬新でした。また、1・2年生男子はラジオ体操をアレンジした集団演技を披露しました。



## 第27回文化祭

~響~一人一人の個性が響きあい、素晴らしい一日でした。



生徒会指導部川上

秋晴れの10月24日(土)、第27回文化祭が実施されました。今年も例年どおり手の込んだ、各クラスからのステージ企画が多く、午前中のステージ部門は大変充実したものになりました。最優秀企画賞を獲得した2年3組の「おとぎの国の2年3組」では、担任の田口先生の思いがけない登場で会場は大盛況でした。また、1年1組の「俺たちの青春」、1年3組「ファンキークラスショー」も好評でした。

午後からは各会場に分かれて実施。展示部門では2年1組の「プラネタリウム」が、バザー部門では3年2組がそれぞれ優秀賞を獲得。販売実習「壱岐商館」も大盛況で、壱岐商が開発した「アップレ・カレー」も好評でした。多くの地域の方々に来校いただきありがとうございました。





# 祝 アッパレ・カレー 完成セレモニー

課題研究授業の一環で、沓岐産のアスパラガスを使ったレトルトカレーの商品化が実現し、10月13日（火）、本校会議室にてその完成セレモニーが開催されました。白川博一市長、J A 沓岐市・川崎裕司組合長をはじめとする来賓の方々にも試食していただきました。

本校生徒が課題研究の授業の一環で、沓岐の特産品を利用し商品かできるものはないかと試行錯誤してできたのがこの「アッパレ・カレー」ですが、その過程にはたくさんの方々からの協力やご指導がありました。まず、福岡市の企画流通会社から講師に来ていただき、3年生26人が商品開発について多くのことを学ばせていただきました。さらに、沓岐の特産物である柚子やイチゴなどの商品化を検討し、最終的にアスパラカレーに決定。その後、たくさんの方に試食していただき味について助言を頂きました。パッケージは3年商業科の大野茜さんのデザインです。文化祭では多数のカレーを販売でき嬉しく思います。

今まで何回も試食してきたけど、今日のが最高だね！今後どれくらい売れるか楽しみです。

この素敵なデザインは3年商業科の大野茜さん(勝本中学校出身)の作品です。



## 全商英語弁論大会暗唱の部 3位岡本哲也 君(石田中学校出身)

狙っていた優勝ではありませんでしたが、3位に入賞できて嬉しく思います。

平成27年度第33回長崎県商業教育研究会主催、英語スピーチコンテストが、10月17日(土)に諫早商業高等学校で開催され、情報処理科の岡本哲也君が暗唱部門で3位に入賞しました。岡本君の感想を紹介します。

まず、夏休み直前に本部から送られてきた課題文の中からどれにするかを決めなければなりません。「みょうがを食べたら馬鹿になる」という日本の迷信を題材にした面白い話がありすぐその題材に決まりました。その話の中で「みょうがの天ぷら」が出てきますが一度も食べたことはありませんでした。そこで、一緒に練習していたクラスメートや指導して下さっていたALTの先生と「みょうがの天ぷら」を食べにいきました。その後、ALTの先生に自宅まで送ってもらうことになり、英語で道案内をしなければならず冷や汗をかきました。しかし、今は練習を通して英語もだいぶ聞き取れるようになり、また、英語に対し少し自信ができました。



# ウイ ン ター コ ン サ ー ト

12月13日(日)、西部開発センター(勝本町)で午後1時30分から始まりました。

第1部のオープニングは、本校報道部によるムービー上映、日頃の文化部の活動が紹介されました。続いて、本校吹奏楽部が日頃の練習の成果として、「小さな楽団のための組曲」など多彩な曲のメドレーを披露しました。次に、霞翠小学校6年児童による環境学習の発表「沓岐ものがたり」がありました。

第2部は、霞翠小学校児童による太鼓演奏に始まり、続いて本校「沓州荒海太鼓部」の力強い演奏が披露されました。「サンライズ」では、静寂のなかで小鳥のさえずりがどこからともなく聞こえてくる朝の情景が浮かんでくるようでした。最後は、出演者全員が舞台の上で「BELIEVE」を合唱し、大盛況のうちに幕を閉じました。



## 受験体験記 3年商業科 竹田亮成 君(郷/浦中学校出身)

私は、高校1年生の時からパンに携わる職業に就きたいと考えていました。しかし、パンを製造するという仕事の内容がよく理解できておらず、パン生地をこねたりしている自分の姿を漠然と思い描いていただけでした。

いよいよ3年生になり、進路室に求人票が送られてくるようになり、その中からパンに携わる求人票を探しましたが、残念なことに一つも来ていませんでした。そんな時にある企業を先生から薦められて受験することになりました。夏休みから面接や作文の練習をしてきていましたが、不安でいっぱいでした。学科試験と作文は思ったよりできたような気がしますが、集団面接で思ったように自分の熱意を伝えることができず、内定をいただくことができませんでした。

あれだけ準備をしていたのに合格できなかったという気持ちばかりで、しばらくは全てがダメになったような気がして意気消沈していました。しかし、担任の島田先生やクラスメートに励まされ、「また頑張ろう、頑張って次を受けよう。」という気持ちになりました。

仲間が次々と内定をもらっていく中で不安でしたが、毎日進路室に通って新たに送られてくる求人票の中から自分が就きたいと思うようなものが届いていないかチェックしていました。そんなある日のことです。進路の伊藤先生が「お前が探していたのがやっときたぞ。これを受けてみんか。」と、あるパン製造の企業を薦めて下さいました。それからわずか1週間後の試験でしたが、先生方が全力でサポートして下さい、ギリギリで2社目を受けることができました。前々からしたい仕事だったこともあり、自分の強い熱意を伝えることができましたと思います。内定の通知が来たときは、喜びの気持ちでいっぱい自然に涙が出てきました。心が折れそうになったとき、励まして下さった先生方へ感謝します。

